

帝キネ芦屋時代映畫
小國狂二氏

原作並脚色者
監督者 摄影者

立唐小
花澤國
幹弘狂
也先氏

主要灾害

城村力助
水町鏡馬
新井周藏
藝妓靜男
富輪衆之助
解説　「落武者」について　唐澤弘光氏が監督
製作した時代劇である。二つの思潮に天下騒然たる時新井を首領とする佐幕蕭矢來粗の城戸大助は其忠誠さとして親の者であつた。彼の半義に勤王であつたが育て親たる新井の恩ふ時自己の主意は通せなかつた。かくて新井の命にて大助は花村と共に上洛したが大助の溺たされぬ心がないつも慰めるものは藝妓靜勇であつた。靜勇の兄富輪は勤王の志士で常に佐幕黨の爲めに迫害を受けけてゐた。大助は遂に意を決して恩愛を捨てに生きむとした。やがて富輪は勤王黨の刃に伏せられた。けれども最後の月桂冠には勤王黨の占むる處となる錦旗萬歳は高らかに叫ばれゝが大助は剣を捨て静勇と共に安住の地を求めて果てたのである。